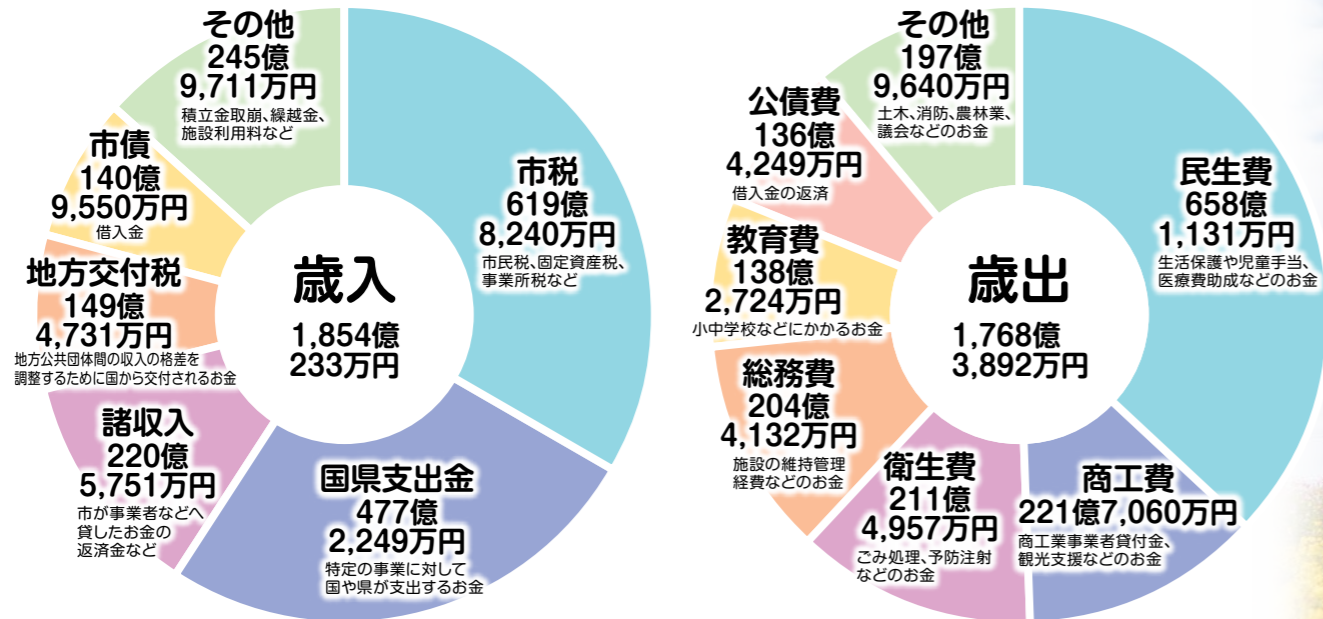


## 決算の概要

一般会計 歳入 1,854億233万円 歳出 1,768億3,892万円

歳入歳出の差引額は85億6,341万円で、繰越財源を控除した実質収支額のうち、50億円を財政調整基金に積み立て、残りは令和4年度に繰り越しました。



※千円以下を四捨五入しているため、決算額の内訳と合計が一致しません。

### 特別会計

歳入	歳出
765億9,642万円	751億9,223万円

### 企業会計

	収益的収入(歳入)	収益的支出(歳出)
水道事業	73億3,159万円	63億1,415万円
公共下水道事業	84億2,392万円	70億8,767万円

※千円以下を四捨五入しています。

## 令和4年 第4回定例会

# 令和3年度決算を認定

令和4年 第4回定例会は、下記の日程により22日間の会期で開かれました。

本定例会では、令和3年度の一般会計・特別会計の決算認定などの議案21件を原案のとおり可決・認定し、教育委員会教育長、教育委員会委員、固定資産評価審査委員会委員及び人権擁護委員候補者の人事案件6件に同意しました。なお、請願2件は不採択となりました。

また、22人の議員が市政に対し一般質問を行いました。

9月 7日(水)	議案上程、提案説明、監査報告 ほか
9日(金)	一般質問 (*詳しい内容はP 4~9)
12日(月)、13日(火)	
16日(金)、20日(火)	委員会審査 (*詳しい内容はP 10)
21日(水)、22日(木)	
28日(水)	付託された議案等の委員長報告~討論~議決 ほか (*審議結果はP 12)

鼻高展望花の丘のキバナコスモス

## 決算議案への討論

### 賛成

- 本市の気概を感じる取り組みと健全な財政運営を評価 (新風会)

コロナ禍でも工夫した取り組みを展開し、感染症防止対策と経済対策の両輪において成果を上げていることを高く評価する。企業全体の業績回復により、法人市民税による収入が増加したことは、本市が独自に実施してきた経済対策が実を結んだ結果である。また、地方財源を適切に確保し、50億円を財政調整基金に積み立てており、財政運営も健全である。

## 本定例会で可決した主な議案

### ICカードシステム車載器一式を購入

バス利用者の利便性向上のため、市内循環バス等のICカードシステム車載器一式を購入する。



- 契約金額 1億4,255万円
- 契約相手方 レシップ株式会社

東京営業所

### 職員の定年等に関する条例等の一部改正

地方公務員法の改正に伴い、職員の定年の引き上げ、管理監督職の勤務上限年齢制及び定年前再任用短時間勤務職員の制度等について定めるため、条例を一部改正する。

### 令和4年度 一般会計補正予算 歳入歳出76億8163万円の増額

一般会計の総額に歳入歳出それぞれ76億8163万円を増額し、予算の総額を1740億55万円とする。

#### 主な内容

- 価格高騰緊急支援給付金給付事業 22億8979万円  
国の物価高騰対策として、住民税非課税世帯などに対して1世帯当たり5万円を給付するための経費。
- 新型コロナウイルス予防接種事業 11億4290万円  
新型コロナウイルスワクチン接種について、オミクロン株に対応したワクチンの接種を行うための経費。
- 高崎市民商品券事業 20億120万円  
物価高騰の影響を受けている市民生活の支援と、市内経済の活性化のため、市内の登録店舗で使用できる商品券を全市民に1人当たり5千円分交付するための経費。
- 小学校校舎屋上防水等復旧工事 5689万円  
降ひょう被害を受けた久留馬小学校の復旧工事に必要な経費。